

「栃木県公衆衛生学会 学会長賞」を受賞

栃木県公衆衛生協会が主催する第60回栃木県公衆衛生大会（令和2年9月2日）において放射線課の安達美帆技師が第58回栃木県公衆衛生学会（令和元年9月4日）で発表した「平成29年度乳がん検診における総合判定方式初年度の成績」が優秀と認められ学会長賞を受賞しました。

本発表では、「マンモグラフィと超音波検査の併用乳がん検診について、平成28年度まで判定を個別に行う分離判定方式としていたが、平成29年度より両画像を総合的に判定する総合判定方式に変更したことにより、がん発見率を下げずに要精検率を抑制することができ、より効率的な検診を行うことができた」ことについてまとめた内容となっています。

